

授業科目(ナンバリング)	マリンスポーツⅢ (CC304)			担当教員	江島 弘晃		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
スキューバダイビングのCカード(認定証)を取得し、レスキューダイバー(REDF)または複数のスペシャリティを認定されたダイバーになることを目標とする。また、Cカードの取得課程において、海の自然やそこにすむ生き物に実際に触れることで、海の楽しさ、海の素晴らしさ、海の大切さを実感する。							①②①
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	レスキューダイバー(REDF)、または複数のスペシャリティダイバー認定を取得することができる。				座学認定試験 実技認定試験	20% 10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	パーティ、グループメンバーと安全管理を含めたコミュニケーションをとることができる。				授業態度・授業への参加度	20%	
協働・課題解決力	スキューバダイビングに必要な理論を理解し、説明できる。スキューバダイビングに必要な理論を理解した上で、技術(トラブルの未然防止、緊急時の応急処置、救助、水中捜索など)を習得することができる。				座学認定試験 実技認定試験	20% 30%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>座学、実技講習を通し、レスキューダイバー(REDF)または複数のスペシャリティダイバー認定に必要な技能、知識を身につけているかを評価する。(座学：評価基準40%、実技：評価基準40%、総合授業態度：評価基準20%)また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。</p> <p>海洋実習では、より安全なダイビングを行うための方法について学習する。またいざという時の対処法を学び、自分への自信、パーティやパーティのことも考えられるダイバーになるための技術、知識を習得する。</p>							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義と実技を併せた演習形式で実施する。</li> <li>・実技は、プール実習、救急救命法実習を行う。</li> <li>・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</li> </ul>							
教科書・参考書							
<p>教科書：所定のダイバーマニュアル(オリエンテーション時、または学科講習初日に配付)</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：所定のダイバーマニュアル(オリエンテーション時、または学科講習初日に配付)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>受講条件：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバンスドオープンウォーターダイバー認定を受けていること。</li> <li>または同等レベルのダイバー認定を受けていること。</li> <li>・レスキューダイバー認定を希望する者は、EFRコース(応急救護コース)を過去2年間に修了していること。</li> <li>または、消防庁、日本赤十字社などの同程度の救命講習を修了していること。</li> </ul>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	授業の内容・展開方法に関する説明	シラバスに目を通しておく
2	学科講習（1）	①ナリッジレビュー	OW、AOWの基礎知識、基礎技能の復習
3	学科講習（2）	②レスキューまたは指定スペシャリティ基本知識	学科講習内容の復習
4	学科講習（3）	③学科試験	認定試験の模擬問題を解く
5	海洋実習（1）	疲労ダイバーの曳航または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
6	海洋実習（2）	パニックダイバーの対処。浜、ボート、栈橋からの反応があるダイバーへの対応。 または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
7	海洋実習（3）	水中でトラブルに遭遇しているダイバーへの対応、または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
8	海洋実習（4）	行方不明ダイバーの搜索、または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
9	海洋実習（5）	反応がないダイバーの浮上誘導、または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
10	海洋実習（6）	水面で反応がないダイバーへの対応、または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
11	海洋実習（7）	反応がないダイバーのエキジット浜やボートでの対応指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
12	海洋実習（8）	圧力に関連する事故のファーストエイドと酸素吸入または指定スペシャリティの技能講習	使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
13	海洋実習（9） および認定試験	シナリオ演習（水中で反応がないダイバー）または指定スペシャリティの技能講習	水中時の対応に関する講習内容の復習 使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
14	海洋実習（10） および認定試験	シナリオ演習（水面で反応がないダイバー）または指定スペシャリティの技能講習	水面時の対応に関する講習内容の復習 使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う
15	海洋実習（11）	習得した技能をもとにしたファンダイブ	バディ、グループメンバーの確認補助 使用器材の確認を行う 使用器材の後片付けを行う